

機関始動用アルカリ蓄電池 東日本旅客鉄道株式会社 東 キハ E120 系、130 系へ採用

The Alkaline Storage Battery for Engine Starting Adopts to KIHA E120 Systems of East Japan Railway Company, and E130 Systems.

東日本旅客鉄道株式会社は、2006 年度から 2007 年度にかけて新型気動車キハ E130 系とキハ E120 系を計 47 両投入します。新潟トランス株式会社製が製作するこれらの車両に、弊社新製品の機関始動用「TRZ 形」アルカリ蓄電池を採用頂きました。

キハ E130 系は水郡線に配置され、従来のキハ 110 系気動車全 41 両と置き換えられます。この車両は、環境対策に配慮した新型エンジンの採用で、窒素酸化物 (NOx) や黒鉛などの粒子状物質 (PM) を大幅に削減し、バリアフリー設計、IR カットガラスの採用も行っています。車両のデザインも水郡線利用者からの意見を聞いて決定されました。同社

は、新型気動車の導入に合わせて、地元とタイアップした企画を検討、同線の活性化を図っていくとのこと。

今回ご採用頂いた蓄電池は 2006 年度に製品化した TRZ120A-19 形で、鉄道車両用 MT 形蓄電池で多くの実績のある極板を採用し、ローメンテナンス、補水作業の容易性、優れた低温特性を実現しています。他の鉄道事業者殿での実車試験も良好で、弊社の鉄道車両用蓄電池のラインアップに加えられました。

弊社は、これからも車両のニーズに合わせ、幅広い用途に適応した蓄電池で、鉄道輸送に貢献していきます。

